



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第10号

令和3年9月15日発行

文責 校長 宮地 浩幸

グランド整備（地域の協力）

5月の体育大会前に、職員でグランド整備を行い見違えるようになったのもつかの間、夏休みを終えるころには、いたるところに雑草が息を吹き返し、海風により表面の砂は削られ、太陽放射によりところどころにひび割れが見えるようになりました。

そんな時、保護者から「職員住宅の下に新たにヘリポートを作るために大量の土砂が出てくるので、学校のグランドに入れてもらったらどうですか」と学校にお声掛けがありました。学校の環境整備については、教育行政も努力をされていますが、地理的な問題もありなかなか上手くいかないところが多く、苦慮しているのが現状です。そういう状況ですので、2つ返事で、お答えすると工事業者と調整をしてもらい学校に多くの土砂が運ばれました。

すると今度は、運ばれた土砂をグランド全体に慣らさなければなりません。9月1日（水）唐津市内のコロナ感染拡大により、学校が臨時休業になっていましたので、午前中に、職員と保護者が協力して、まずは、除草作業を行い、その後、グランドに運ばれた土砂の山を全体に慣らそうとしましたが、なかなか手に負えず、かなりの作業を残したままにしていました。そんな中、9月7日（火）に地域の方が小型重機をもってきて、残りの作業を夕方遅くまで掛かって、きれいに全ての土砂をグランド全体に慣らし、平らに踏み固めてもらいました。おかげで、見違えるようにグランドが整備されました。保護者の皆様、地域の皆様本当にありがとうございました。



今回の件を受けて、学校が地域にいつも支えられていることに感謝するとともに、地域の方々の学校に対する思い入れを感じることができます。普通学校ではこのような大掛かりなグランド整備は業者に任せて行われます。島の学校では、地理的な条件が不利に働くために、業者が行うことを島の方々が自分たちで行われています。島民の方々のたくましさを感じるばかりです。またそのようなスキルを学校環境整備にご尽力いただけるのは、すべては子ども達のため、地域一体となって子ども達の「育ち」を応援されているのだと強く感じます。

新しいALT（Assistant Language Teacher）：外国語指導助手

本年度9月よりALTの先生がスズ先生から、エドウィン先生へ交代になりました。9月10日（金）の朝に児童生徒への紹介が終わると早速外国語活動や英語の授業の中に入っていました。エドウィン先生は多趣味で、子ども達にいろいろなことを話してくださいました。校長も少し授業に参加し、大変興味ある話を伺うことができました。

その内容は、先生の趣味に関するもので、ダイビングの話でした。まず、自分のバッグの中からとても大きなフィン（足ひれ）を出して、これを使えば泳ぐのが楽であること。水深30mくらいまで潜ったことがあることなどを教えてもらいました。また、ダイビング用のマスク（イメージは水中メガネ）は水泳

の授業で使うゴーグルと異なり鼻までおおうようになっているのを示してもらいました。

その理由は、深く潜ると大きな水圧の影響を受けるため、鼻の部分が無いと、鼓膜を破いたり、眼球が外へ飛び出しそうになるスクイズと呼ばれることを防止するためです。だから、ダイビング中は決して息を止めるということをしてはいけないそうです。これは、校長が理科の教師だったこともあり大変興味深い事で、すぐにそのメカニズムを調べて確認したほどです。

エドウィン先生は朗らかで、お話し好きのナイスガイ。子ども達もすぐその人柄に親近感を持って楽しく勉強したようです。



小学校 1, 2 年生の掃除

学校では、頻繁に来客があるわけではありませんが、島外から時々学校に訪れられた方々は、校舎内がきれいなことを口に出されます。要するに掃除が行き届いています。少ない子ども達と職員で、毎日、掃除は丁寧に行っています。校長は掃除の様子を観察しに行きますが、小学校 1, 2 年生の掃除に注目します。それは、小学校 1, 2 年生であっても掃除に関しては、しっかりと頑張ってもらわなければならないからです。担任の先生の細かい指示で、3 人の子ども達は、元気に頑張ります。年度当初、戸惑いがあった、上手くできていなかった子ども達もかなり様になってきました。その様子を見てみると 3 人で話し合い場所の割振りをしたり、出来ていないところの指摘をしたり、やり方の注意をしたりみんなが協力して、ちゃんとしようという意識が窺えて、見ていて微笑ましくなります。そして担任の先生からのダメ出しを受けた時の表情も見えて面白いものです。



防犯・交通安全教室

9 月 9 日（木）に、今年も小川島駐在所の江口さんにおいでいただき、防犯・交通安全教室を行いました。陸部と異なり、島では交通事故や犯罪に巻き込まれる確率は断然に少ないと思いますが、心の隙があるときに思わぬ事故に巻き込まれるものです。自分の身を守ることに認識は常に持っておかなければなりません。

お話が始まる前に、警察官の所持品を説明されました。警察手帳や拳銃、警棒、手錠などは知ってはいるものの子ども達にとっても驚きの表情がありました。そして、チョッキを外され、その重みを示してくれました。刃物が通らないように中に金属が入っているということでした。



さて具体的なお話ですが、交通量の多い所では必ず交通ルールを守ること、自転車に乗る際は必ずヘルメットをかぶることなどを話され、防犯に関しては、子ども達の興味を沸かせるように「名探偵コナン」のアニメを使った教材を示してもらいました。具体的な状況に遭遇した時、どのような行動をとればいいのか。例えば、「知らない人からいきなり道を尋ねられたらどうするか？」クイズ形式で子ども達に質問があり、小学校低学年の子ども達にはかなり受けが良かったようです。